

# 女性消防吏員へのインタビュー



## 略歴

### 消防署（警防・救急）

- ・ 令和2年度採用 階級：消防士
- ・ 令和2年8月から約半年間群馬県消防学校に入校し、消防業務の基礎的なことを学ぶ。
- ・ その後、約1ヶ月現場活動（警防）に従事した後、2月から救急隊員として従事するため約2ヶ月月間群馬県消防学校で救急課程の教育を受ける。
- ・ 入職3年目の現在、救急隊員として、男性職員にはない、女性の長所を生かし、現場活動に従事している。

### なぜ消防士になろうと思いましたか？

私が入職する前は、藤岡消防署に女性消防士が1人もいませんでした。そこで、私は男性だけでなく女性からの目線で傷病者の方々を助けたいと思いました。また、運動することに自信があったので、今まで培った体力を生かし、管内の住民の方々の役に立ちたいと思い志望しました。

### 消防士を目指す方々へのメッセージ

男性の職員が多い職場なので、大変なことや不安なこともたくさんあるかもしれませんが、女性だからこそ活躍できる場面も多くあり、とてもやりがいのある仕事だと感じています。消防士になって一緒に頑張りましょう。





# 女性消防吏員へのインタビュー



## 略歴

### 消防署（警防・救急）

- ・令和4年度採用 階級：消防士
- ・令和4年4月から約半年間群馬県消防学校に入校し、消防業務の基礎的なことを研修中。
- ・その後、約1ヶ月現場活動（警防）に従事した後、11月から救急隊員として従事するため約2ヶ月間群馬県消防学校で救急課程の教育を受ける予定。

## なぜ消防士になろうと思いましたか？

テレビや報道での災害現場を見て、何もできない自分に無力感を感じたことがきっかけです。これを機に、自分自身の力で人を助け、また、私の長所である根気強さと、学生時代、部活動で培った体力を生かせると思い、消防士を目指しました。

## 目指す消防士の姿は？

救急隊として、傷病者のもとへいち早く駆けつけ、女性消防士として、「女性にしかできない、女性だからこそできること」を見つけ、1人でも多くの方々に安心感を与えられるような人になりたいと思います。また、多くの方々に寄り添い、信頼される消防士になりたいです。

